

2022年12月16日発行

事務所 武石地域総合センター内

TEL:0268-85-2511

<https://www.s-takeshi.jp>

印刷 中澤印刷株式会社



武石公園

第8回「たけしカルタ 歴史さんぽみち」



武石公園



火おこし体験

11月13日(日)、今回は、武石公園周辺の名所旧跡の散策と、ともしび博物館で火おこし体験を行い、子供さんを含め26人の参加が有りました。

武石公園では、郷土史家の児玉卓文さんから武石公園の歴史、公園内に祀られている石の仏像や祠などの由来を伺いました。また、子育て教育文化部会員で地質に詳しい小山和博さんから、武石地域は武石や焼きもち石など希少な鉱物が産出する場所である事や、かつて公園周辺は川が流れていて、浸食されて残った固い岩山が今の武石公園であるとのお話がありました。

武石公園のふもとにある「赤岩」では、児玉さんから「昔、裏山から突然大きな岩が落ちてきて、若いお百姓さん夫婦が赤ん坊と共に下敷きになってしまったという悲しい伝説があります」と説明

があり、一方、小山さんからは「この岩は角が取れた丸い形をしていて、山の方から土砂と共に押し流されてきた物だと思います」との説明があり、各々興味深いお話を伺いました。

武石公園散策の後、ともしび博物館で職員の皆さんの指導で火おこし体験を行いました。最初は火おこし道具の扱いに苦労していましたが、少しずつ慣れてきて小さな火種から炎が立ち上がると子供さんから笑顔がこぼれました。

「ふるさとかるた 武石村」には、次の3か所が詠まれています。

- る 「ルビーとも 思えるひかり 宝の武石^{ぶせき}」
- は 「花見客 武石公園 ツツジの名所」
- ひ 「火の歴史 学ぼう ともしび博物館」

花楽里公園整備のお手伝い 自然・生活環境部会

つくる会自然生活環境部会は、10月9日(日)、下本入の芹沢貞夫さんが開設している花楽里公園整備のお手伝いをしました。

花楽里公園は、芹沢さんが7、8年ほど前から一人でコツコツと竹藪や原野を切り開き、地形を利用して開設した公園です。この日は部会員10名が出て、ポピー園の周囲がぬからないように砂を撒く作業を行いました。

芹沢さんは、春のポピーから秋のコスモスまで1年を通じて花で彩るほか、春は鯉のぼり150本を掲揚、秋から冬場にかけて夜10時ごろまでイルミネーションのライトアップなどをしていて、



ファンタジーなイルミネーション

「公園の利用は無料なので、誰でも気軽に、みんなの憩いの場、交流の場として利用してほしい」としています。

ともしびの里駅伝大会 4年ぶりに開催

10月23日(日)、第33回ともしびの里駅伝大会が開催されました。2019年は直前の台風19号災害で中止、20、21年はコロナ禍で開催ができず4年ぶりの開催となりました。

今年は例年の半分ほどの49チームが参加、7区間25.1kmで健脚を競いました。雲が多めでしたが晴れて暖かく、走るにもまた応援にもちょうど良い天気、沿道では大勢の人が声援を贈りました。特養ともしび前では入所されている皆さんが庭に出て小旗を盛んに振って応援をしていました。



小学生ブロッコリー収穫体験

美ヶ原が白く染まった10月25日(火)、上小寺尾の竹内利通さんのブロッコリー畑に歓声が響きました。この日は武石小学校2年生のブロッコリー収穫体験です。

竹内さんは、地域の子供たちに農業の楽しさや地元の野菜のおい



しさを知ってほしいと、JA信州うえだの協力を得ながら7年ほど前からブロッコリー収穫体験の場を提供しています。

竹内さんやJAの職員からのお話の後、子ども達31人は一斉に畑に散らばり、自分の顔程もある大きなブロッコリーを1人2個ずつ収穫しました。その後大きな鍋でゆでたてのブロッコリーをいただきました。マヨネーズ、ドレッシングもありましたが、塩味が人気でした。いつも給食では青物野菜を残してしまう子も、この日はおいしいと言ってお替りをしていました。

武石地域の災害危険度は？

近年気候状況の変化による大雨・台風災害や地震など大きな災害が多発する傾向になっています。そうした中で、武石を含めた上田地域の災害について、武石地区社会福祉協議会(松久宏明会長(沖自治会長))が主催して、講演会が開催されました。講師の郷土地質研究家山辺邦彦氏は次の

住民会議開催 社協武石地区社協

ように日頃の備えの重要さを指摘していました。「近年は100年に1度というような大雨が頻発するようになってきた。2019年の台風19号は江戸時代の「戌の満水」(1742年8月)以来ともいわれている。武石地域は150万年前の火山である美ヶ原の下流域にあり、土砂崩落等の災害の危

おさんぽギャラリー 秋 旧武石銀座周辺の5つの施設を巡るイベント

10月最後の週末となる29・30日、「おさんぽギャラリー“秋”」が開催されました。このイベントは、武石観光協会が主催し、運営には武石風土つなぎ隊の他、長野大学環境ツーリズム学部松下ゼミを始め多くの団体や個人が参加しています。

今回の催しは「たまりや」の古民家再生会場をメインに「ギャラリークラノマ」、「ピザラボ」、「つなぐや」、「ともしびの里文化祭」が会場となり、5つの会場を巡るスタンプラリーも行なわれました。回を重ねる毎に充実したものとなり、運営を担うスタッフの皆さんからは、地域を盛り上げていこうという熱い思いを感じた2日間でした。

《ギャラリークラノマ》

武石観光協会主催写真コンテスト作品展示と入選者表彰式が行われました。



《ピザラボ》

29日ピザの販売、30日には、住みよい武石をつくる会産業経済部会によるジャガバタの提供がありました。朝早くから武石風土つなぎ隊のメンバーが薪を



を入れて石窯を温め、学生の皆さん等が手作りしたピザ種が届くと、次々に熱々のピザが出来あがっていきます。待ちかねたお客さんが美味しそうにほおばっていました。



《たまりや》

地域の賑わいの場とするべく、明治時代に建てられた古民家を再生する作業が進められていました。障子張り、階段補修体験、学生による古民家案内が行われました。障子張りに挑む学生さんは、「障子張りなどやったことがなかった」と、緊張しながらも1枚ずつ丁寧に貼っていました。来場者には、こだわりの豆から焙煎した美味しいコーヒーにシフォンケーキが振る舞われました。



《ともしびの里文化祭》

武石総合センターを会場に開催された文化祭には保育園児から小、中学生を始め、団体や個人による作品の展示発表がありました。多くの力作に眼を奪われました。



《つなぐや》

店頭での商品やピザ券の販売、スタンプラリーで5か所を巡ったお客さんにはガラポン抽選により駄菓子をもらえる特典もありました。



険が大きい地域である。武石川、依田川や余里川などには大雨の土砂崩れにより高さ20mを越えるようなせき止湖ができる可能性があり、住宅の水没やせき堤の崩壊による洪水の危険も考えられる。自分の地域の危険性について、まず上田市のハザードマップで確認しておくことが重要である。ただし、台風19号で被害が出た鹿教湯の天満神社付近や真田の渋沢などはハザードマップに

は記載が無かった地域であることも留意しておく必要がある。

地震も多発傾向である。1912年の漆戸地震(震源上田市豊殿、マグニチュード5.1)や1986年の県東部地震(震源丸子、同5)など、近くにも活断層がある。糸魚川-静岡構造線で想定される巨大地震は30年以内に18~30%の確率で発生するとされており住宅耐震化など備えることが重要である。」

おねり行列と秋祭り

コロナ感染予防のため4月10日の御柱当日は奉納できなかったおねり行列ですが、地域の要望を受け、また伝統文化の伝承のために11月3日(文化の日)晴天のもと行われました。

練習は9月から本格化し、夜間や休日にも行われてきました。しかしコロナの影響はこの日もあり、児童数人が残念ながら参加できなくなりました。笛の演奏にはお母さん方6名も応援で行列に加わりました。



本番直前の笛・太鼓の練習



お母さんチェック

9時から読みたて(配役の紹介)が行われ、郵便局・JA前の「武石銀座通り」から演武が始まりました。子檀嶺神社大鳥居を過ぎてからは熱のこもった連続の演武となり、予定終了時刻を1時間も過ぎ、行列の最後が神社本殿に着いたのは12時半頃となりました。

廣川岩男おねり保存会長は、「本来なら300人になる行列関係者を伝承のための奴、長刀、笛・太鼓など100人ほどに縮小して行いました。次回の御柱ではコロナが収まり、本来の形で実施できるよう願っています」と話していました。

また、おねり行列に合わせて武石銀座は歩行者



午前5時から着付け・化粧



舞う大鳥毛 初めは持つのも大変だったとか



天国となり、JA広場ではライブやダンスの披露やキッチンカーなどが並び、大勢の皆さんが秋祭りを楽しんでいました。



ひがしかえ せき そん さま
 森厳な余里東替の石尊様 I

郷土史家 見玉卓文

広報編集会議の折、部員の柴保国さんが余里の山の中に不動明王と観音の立派な石像があることを話してくれました。さっそく『武石村の石造文化財』(平成13)を見ると、巻頭の写真ページに蓮華台座に乗る見事な彫刻の十一面観音菩薩像が掲載され、書中には不動明王像・石祠(家形の石造物)・観音像が10mほどの間をあけて下から上へと祀られ、石尊様と呼ばれていると説明がありました。他に類を見ないものと直感したので、柴さんに現地を案内いただきました。

石尊様は、余里の杉原地区南側の山の中腹、西方の急峻な谷と東方の浅い谷により削り残された尾根の背部にありました。それぞれ斜面を掘りこんで平地とし、石積で祭壇を作って祀られており、不動明王像が据えられた最下段の縁から見上げる景色は、自ずと身が引き締まる雰囲気を感じています。

横長に石を積んだ祭壇の真ん中に安置された不動明王は、地元の緑色火山岩類を舟形に整形して彫り出された立像で、全体に体のバランスが整っています。右手の宝剣と左手の縹索(縄)は別作りの鉄製で、差し込まれており、石像の高さは143cmとやや大型です。怒り顔は肉厚に表現され、頭部の焰髪はとても繊細に彫られています。彫り窪めた眼窩に微かに朱が残っていますが、違和感があるので目は何かをはめ込んだのかもしれませんが。光背の火焰光は平板な彫りですが優美で、塗られた朱が一部に残っており、先端に種子と呼ばれる1字をあてて不動明王の恩恵を表す梵字(古代インドの文字)「カーン」が彫り出されています。舟形石側面に天保五甲午(1834)三月吉日と刻まれています。



石祠は、最も広い中段の削平地中央に、やや高めに積まれた石積み上に祀られています。室の中は幣帛のみで神名札はなく、『武石村の石造文化財』は山の神を祀っていますが、「石尊権現のお札」が納められたと思われます。



最上段の削平地はやや狭いのですが、中央に平たい自然石の基礎を据えて蓮華台座を置き、その上に舟型十一面観音菩薩坐像を載せていましたが、残念なことに現在観音坐像は落下して横転しています。



蓮華台座とともに地元産の緑色火山岩類を彫り出してお

『武石村の石造文化財』より転載

り、観音像の高さは150cmですので、台座を含めると2mほどの像高になります。

観音菩薩は姿を33も変えて一切の生物の願いにこたえてくれるとされます。十一面観音の像容は、本面の上に10ないし11の慈悲・忿怒などの面を持ち、頂上に阿弥陀仏の面を持つことになっています。この像の本面はふっくら穏やかで、頭に数面が丁寧に刻まれ、右手は持ち物なしの施無畏、左手は浄土を表す未開化の蓮の花を持ち、舟形の頂部には十一面観音の恩恵を表す梵字「キャ」が彫られています。

観音像舟形石の側面にも天保五甲午三月の銘があり、不動明王像と石祠と観音は一体のものとして、地を選び、整地して祀られたことが分かります。今回は、この東替の石尊様の特徴を他地域のものと比較して考えてみましょう。

武石を盛り上げる
人々グループ紹介

武石の人々 団体



武石温泉 うつくしの湯
支配人 長谷屋 淳一さん

青く晴渡った晩秋の日曜日、「うつくしの湯」には頻りに車が入り出し、多くのお客さんで賑わっていました。一日に平日で300人、土日祝日には400人の利用があり、年間で約12万の入館者になるそうです。この内の6～7割は、武石・丸子を含めた近隣の常連の皆さんとのことです。

この所のコロナ禍でも、年間の入館者数はコロナ前の約14万人に対して10%強程度の減少に止まっており、近隣の根強いファンの皆さんの利用が続いているようです。

武石温泉は、「うつくしの湯」の西方約500mの田園地帯に湧き出す源泉温度42度の天然温泉で、かすかに赤みを帯びた透明無臭の湯は、温泉成分を豊富に含み、心身の緊張をゆったりとほぐしてくれます。平成11年5月20日にオープン、今年の8月30日には、入館者数が300万人に達しました。現在20人程の従業員の皆さんが働いています。

「うつくしの湯」は、眺めの良い武石の郷風景が心身を癒してくれる露天風呂、メニューが豊富でおいしい食事が楽しめる食堂、そしてバリアフリーで安心して利用ができることが魅力の施設です。



マンドリン演奏会 (大広間)

大広間では、時節に合わせて年間6回程度のイベントを開催しており、入浴だけではない別のお楽しみもしてもらおうよう、毎回創意工夫をしているそうです。食堂では地元の食材を使った料理など、「うつくしの湯」ならではの味を提供しています。なお、一

昨年からはテイクアウトも受け付けていて、お店の味を自宅でも味わうことができます。

長谷屋さんは、「安心・安全であることが一丁目一番地のモットーです。入館者数300万は通過点であり、今後も安心・安全、快適な施設であり続けられるよう、職員共々努力、精進をして参ります」と話していました。



「うつくしの湯」従業員の皆さん

12月22日(木)には9回目となる「お楽しみ忘年会」を計画、お風呂ではゆず湯、大広間ではのど自慢大会、ミニ歌謡コンサート、売店では焼き芋販売などを予定しています。また、1月1日には入館者に粗品ですがお年賀を配るそうです。

長谷屋さんから、「武石の皆さんには、こういう温泉をぜひ活用していただき、日々のお疲れを癒やしてもらえればと思います」とのメッセージを頂きました。

武石温泉 うつくしの湯

営業時間： 午前10時00分～午後9時30分
(入館受付は午後9時まで)

休館日： 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)

入館料： 大人500円、小人250円

電話： 0268-85-3900

武石温泉うつくしの湯

検索